



熊本城



国立病院機構 熊本医療センター



熊本市役所



加藤神社



熊本市電B系統 蔚山町駅



仮バスターミナル



独立行政法人 国立病院機構 熊本医療センター附属看護学校

学校案内 School Guide

ACCESS



- 熊本駅から 〈バス〉熊本駅前バス停～交通センター 所要時間:約10分 交通センター経由または交通センター行きのバスをご利用ください。
〈市電〉熊本駅前電停～熊本城前電停 所要時間:約10分
 - 上熊本駅から 〈バス〉上熊本駅前～交通センター 所要時間:約5分
 - 熊本空港から 〈空港リムジンバス〉熊本空港バス停～交通センター 所要時間:約40分(航空機の到着後15分後に出発)
 - 熊本港から 〈バス〉交通センター経由または交通センター行きのバスをご利用ください。
 - 交通センターより 〈徒歩〉約10分
〈バス〉島1・2番 荒尾橋行き→「国立病院前」下車 島3番 上熊本営業所行き→「国立病院前」下車
 - 〈国立病院シャトルバス〉を国立病院構内～水道町間で運行しています。詳しくはホームページでご確認ください。
- ※平成27年10月1日より、交通センター仮バスターミナル運用開始に伴い乗り場が変わっておりますのでご注意ください。

お問い合わせ
入学案内請求は



独立行政法人 国立病院機構
熊本医療センター附属看護学校
〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号
TEL096-352-5691 問い合わせ時間/平日9:00～17:00
URL:<http://www.nho-kumamoto.jp/>



附属看護学校
ホームページ

National Hospital Organization Kumamoto Medical Center of Nursing School





ご挨拶

国立病院機構熊本医療センター院長
同附属看護学校長

高橋 毅

当校は、熊本城二の丸の場内にあり、政令指定都市の中心地にもかかわらず、美術館・博物館たたく緑ゆたかな恵まれた教育環境にあります。日本有数の高度急性期病院である国立病院機構熊本医療センターの附属看護学校です。その一部をご紹介します。

◆実践重視のハイレベルな講師陣が教育します。現職の各科専門医による最新の臨床医学教育を行います。また、経験豊富な専任教員と、第一線で活躍中のベテラン看護師・認定看護師・専門看護師を中心に、看護学を判りやすく教育します。

◆皆さんが所属する母体病院が実習施設です。550床を有する熊本医療センターは、高度急性期に特化したすべての診療科が揃い、170名の医師と600名の看護師が皆さんの教育を全面的にバックアップします。

◆医療者向けの教育設備と機能が整っています。講義は病院敷地内に独立する校舎で行います。病院の施設である医療者向けの図書室や、e-ラーニング、シミュレーターも学生の皆さんは使用することができます。また地域医療研修センターで行われている、医療者向けの様々なセミナーや講演を無料で聴講することができます。

◆最寄りの市電電停から徒歩10分、交通センターバスターミナルからも徒歩10分の距離にありますので、通学が大変便利です。国立病院シャトルバスも1時間に1本巡回しています。

◆学生生活を楽しんで下さい。来年度完成予定の学食は、病院の職員食堂を兼ねています。豊富なメニューを学生価格で提供します。広大な展望食堂で仲間とのランチを楽しんで下さい。喫茶、コンビニエンスストアも充実しています。

◆学生の皆さんの健康管理は、熊本医療センターが責任を持って行います。安心して、勉学、サークル活動、ボランティアにいそんで下さい。

◆卒業後は、国立病院機構の病院や、皆さんが希望される公立病院、公的病院へ全員が就職できますよう全力で支援いたします。

以上、当院の特徴をいくつか列挙させていただきました。あこがれの看護師への夢を当校でかなえてみませんか？ 精一杯お手伝いさせていただきます。

教育理念

本校は、「自主・責任秩序・融和」の精神に基づき、生命の尊厳を基盤として豊かな人間性をはぐくみ、科学的根拠と倫理に基づいた質の高い看護実践ができる看護の専門職業人を育成します。

教育目的

1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解する。
2. 人々が生活するうえでの健康の意味を、環境との相互作用の観点から理解する。
3. 対象の生活をよりよくするために、科学的根拠に基づいた看護が実践できる基礎的能力を養う。
4. 人々の多様な価値観を尊重し、専門職業人として倫理観に基づいた看護を実践できる能力を養う。
5. 保健医療福祉制度とそれに関わる職種の役割を理解し、チーム医療を実践するための基礎的能力を養う。
6. 生涯にわたり自己を啓発し、国際的な視野にたって活動できる姿勢を養う。

目指す卒業生像

1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる。
2. 生命を尊び、人々の多様な価値観を尊重し、看護の専門職業人として倫理観に基づいた行動をとることができる。
3. 自己を理解し、他者を尊重したうえで人間関係を深めることができる。
4. 科学的根拠にもとづき、対象の生活をよりよくするために看護実践ができる。
5. 保健医療福祉チームの一員として、看護の役割を理解し果たすことができる。
6. 国際社会の動きに関心を持ち、広い視野をもって看護を実践できる。
7. 自らを高めるために継続的に学習し、看護の発展に携わることができる。
8. 看護師としてふさわしい品格を保ち、人間の喜びや痛み、苦しみをわかちあえる豊かな人間性を備えている。



本校は、1976（昭51）年学校教育法第82条の2に規定する専修学校となり、1995（平7）年文部省告示第7号により「専門士」と称することができる専門課程として承認された学校です。

沿革

本校は創立70年を超える歴史ある学校です。

本校は、前々身の熊本陸軍第一病院の陸軍看護婦養成所として発足し、その後、2004(平成16)年4月に母体病院の名称変更に伴い、現在の独立行政法人国立病院機構熊本医療センター附属看護学校となりました。創立から70年を経て2018年3月末時点で卒業生は2,700名を超えました。卒業生は、熊本をはじめ、県内外はもとより海外を含めて、様々な看護活動の場あるいは看護基礎教育の場など幅広い分野で活躍しています。

- S.19 熊本陸軍病院に附属した看護婦養成所として開設される。
- S.20.12.1 国立熊本病院の発足と共に、同附属養成所となる。
(卒業生 36名)
- S.22. 7.25 新制度甲種看護婦養成所に指定。(第1期生 20名入学)
- S.23. 6.12 保健婦助産婦看護婦法改正により、国立熊本病院附属高等看護学院と改称。
- S.26. 4.1 認可。
- S.43. 4.1 保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則の一部改正により、学科目、授業時間数が大幅に改正されて新カリキュラムとなる。
- S.48. 7.31 新校舎竣工。
- S.50. 4.2 厚生省組織規程の一部改正により、国立熊本病院附属看護学校と改称。
- S.51. 4.1 学校教育法第82条の2に規定する専修学校となる。
- H. 2. 4.1 養成所指定規則、指導要領の改正により、医療をとり巻く社会状況の変化に対応できるように配慮し、又ゆとりある教育を目指して教育課程が改正された。
- H. 7. 1.23 文部省告示第7号により、専門士と称することができる専門課程として認められる。
- H. 8. 9.20 創立50周年記念式典、記念誌発刊。
- H. 9. 4.1 保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正により教育内容の充実、単位制が導入され、教育課程が改正。
- H.16. 4.1 母体施設の独立行政法人化により、独立行政法人国立病院機構熊本医療センター附属看護学校と改称。
- H.16.10.31 新校舎竣工。
- H.18. 9.30 創立60周年記念式典、記念誌発刊。
- H.21. 4.1 保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正により、看護実践能力を強化するため教育課程が改正。
- H.28.10.17 創立70周年記念特別講演会。
- H.30. 3 卒業生 2,705名



2018年、創立72周年になりました。

概況

学校職員



学校長
高橋 毅



副学校長
大塚忠弘



事務長
植松 裕



教育主事
大野美穂



教員
橋口清美



教員
市場美織



教員
川久保佳奈



教員
一柳明日香



教員
石井美香子



教員
高木佳寿美



教員
吉竹あゆ



教員
高松三穂子

教育課程

看護専門課程 看護学科(三年課程)

定員

1学年定員 40名(総定員120名)

学校の概要

1. 学校生活・学習環境
教育理念にかかげる3つの精神にこめた看護専門職となるよう本校が大切に取り組んでいることがあります。
ー充実した学習環境
落ち着いた雰囲気のある校舎。実習室には、様々なシミュレーターやモデル人形をそろえています。学校生活では、隣接の母体病院にあるコンビニや食堂も利用できます。
ー学生を全力でサポート！
入学間もない新入生には“ウェルカムタイム”で先輩学生が校舎内や、学校生活の1日の時間をどのように過ごすか、優しく説明しています。看護技術を習得する時期“ピアティーチング”といい、先輩学生が後輩に指導する機会を設けています。教えずぶなかで、お互いがいろいろなことを感じ考え、看護の学習者として成長する機会があります。
ー多彩な講師陣による講義と熱心な実習指導
医療・看護以外の科目は、学校外から様々なご経歴の講師による講義がうけられます。医療や看護については、まさに最新の医療・看護を提供している職員の講義を受けることができます。
2. 卒業後の進路
本校での履修を終えた学生のほとんどは病院施設に就職します。就職先は、母体病院の国立病院機構熊本医療センターをはじめ県内外の国立病院機構、近隣の公的病院などです。また、数名はさらなる資格取得を目指し、看護系大学3年次や看護教諭学科、助産学科へ進学します。このようにして、卒業生は様々な分野で活躍しています。
3. 看護師国家試験
看護師国家試験は常に全国平均を上回り、ほぼ100%の高い合格率を維持しています。国家試験対策としては、1年次から自ら課題をみつけ取り組む姿勢を身につけ、自主的に学び続けることを大切に、学生を支援しています。

卒業生進路

進学

学校名	2016	2017	2018
	年度	年度	年度
熊本大学看護教諭特別別科		2	1
長崎大学医学部保健学科(3年次編入)	1	1	
京都医療センター附属看護助産学校(助産学科)	1	1	

就職

施設名	2016	2017	2018		
	年度	年度	年度		
熊本県内 国立病院機構	熊本医療センター	25	15	17	
	熊本再春荘病院	3	6	5	
	熊本南病院	1	1		
	菊池病院	1			
	熊本中央病院	1			
九州内 国立病院機構	済生会熊本病院		1		
	熊本総合病院			1	
	熊本大学医学部附属病院			1	
	医療法人桜十字桜十字熊本病院			1	
九州外 国立病院機構	小倉医療センター			1	
	福岡東医療センター		2		
	九州医療センター		1	1	
	九州がんセンター		1		
	大牟田病院		1	1	1
	佐賀病院			1	
九州外 国立病院機構	長崎医療センター			1	
	宮崎東病院			1	
	東京医療センター			2	
	災害医療センター			1	
	千葉医療センター			3	
京都医療センター			1		
大阪医療センター	1				

講師紹介

講師陣は専任教員の他、国立病院機構熊本医療センターの医師・看護師や近隣の大学教授が専門性を活かした授業を行っています。看護師国家試験は、毎年ほぼ100%の合格実績を残しています。

学 科 目	講 師 名	所属・職名・業績等				
基礎分野	人間工学	西島 衛治 九州看護福祉大学大学院精神保健専攻教授 九州看護福祉大学福祉学部看護福祉学部教授				
	情報科学	坂西 文俊 元)有明工業高等専門学校教授				
	文学	古江伸一郎 非常勤講師				
	健康と癒し(音楽) (体育)	平和 孝嗣 城 弘子 国立大学法人熊本大学名誉教授 非常勤講師				
	英語講読	池田 裕子 熊本大学非常勤講師				
	人間関係論・演習	吉田 道雄 高木ひろみ 国立大学法人熊本大学名誉教授 臨床心理士				
	社会学	山田 梨佐 元)熊本大学大学部助手				
	心理学	江崎百美子 くまもと心理カウンセリングセンター副代表				
	生命倫理	高橋 隆雄 熊本大学大学院先端機構特任教授				
	英会話	グレゴリー・ラートポール 非常勤講師				
	専門基礎分野	解剖生理学	羽山 和子 元)佐賀医科大学医学部助手			
		代謝学	小野 恵子 橋本 章子 熊本医療センター 糖尿病・内分泌内科医長 熊本医療センター 糖尿病・内分泌内科医長			
病理学総論		武藤 礼治 熊本医療センター 病理診断科医師				
微生物学		江藤 晶 学校法人銀杏学園熊本保健科学大学大学院非常勤講師				
薬理学		中川 義治 熊本医療センター 薬剤部長				
疾病論Ⅰ(呼吸・循環)		名村 亮 原田 正公 北田 眞己 櫻井 聖大 藤本 和輝 宮尾 雄治 日高 道弘 原田奈穂子 榮 達智 河北 敏郎 三井 士和	熊本医療センター 呼吸器内科医長 熊本医療センター 救命救急センター長 熊本医療センター 救急科医長 熊本医療センター 救急科医長 熊本医療センター 循環器内科部長 熊本医療センター 循環器内科医長 熊本医療センター 臨床研究部長 熊本医療センター 血液内科医長 熊本医療センター 血液内科医長 熊本医療センター 血液内科医長 熊本医療センター 血液内科医師			
		疾病論Ⅱ(栄養・代謝・排泄)	杉 和洋 中田 成紀 浦田 昌幸 松山 太一 美馬 浩介 宮成 信友 蔵重 淳二 西川 武志 木下 博之 富田 正郎 菊川 浩明 陣内 良映 前田 喜寛 二口 芳樹 銘苅 晋吾	熊本医療センター 診療部長消化器内科部長 熊本医療センター 消化器内科医長 熊本医療センター 消化器内科医長 熊本医療センター 消化器内科医長 熊本医療センター 外科医長日本消化器外科学会 熊本医療センター 診療部長外科部長 熊本医療センター 外科医長 熊本医療センター 糖尿病・内分泌内科部長 熊本医療センター 糖尿病・内分泌内科医長 熊本医療センター 教育研修部長 熊本医療センター 泌尿器科部長 熊本医療センター 泌尿器科医長 熊本医療センター 泌尿器科医長 熊本医療センター 泌尿器科医師		
			疾病論Ⅲ(知覚・運動)	橋本 伸郎 福元 哲也 平井 泰博 前田 智 中川 隆志 甲斐恵太郎 牧野 公治 上村 尚樹	熊本医療センター 診療部長整形外科部長 熊本医療センター 整形外科医長 熊本医療センター 整形外科医長 熊本医療センター 整形外科医長 熊本医療センター 脳神経外科医長 熊本医療センター 脳神経外科医師 熊本医療センター 皮膚科医長 熊本医療センター 耳鼻いんこう科医長	
				疾病論Ⅳ(性・生殖機能)	西村 弘 水元 孝郎	熊本医療センター 産婦人科部長 熊本医療センター 外科医長
					治療論	久保田竜生 水元 孝郎 岡本 実

学 科 目	講 師 名	所属・職名・業績等				
専門基礎分野	治療論	瀧 賢一郎 原田 正公 櫻井 聖大 吉松 俊治 富高 悦司 伊藤加奈子 根岸 孝典	熊本医療センター 麻酔科部長 熊本医療センター 救命救急センター長 熊本医療センター 救急科医長 熊本医療センター 診療部長放射線科部長 熊本医療センター 放射線科医長 熊本医療センター 放射線科医長 熊本医療センター 放射線科医長			
	生活とリハビリテーション	宮川 恵輔 鬼塚 由大 石原 亮一 藤木真倫子 林田 祐醒 藤原 崇光	熊本医療センター 理学療法士 熊本医療センター 理学療法士 熊本医療センター 主任理学療法士 熊本医療センター 主任言語聴覚士 熊本医療センター 主任言語聴覚士 熊本医療センター 主任言語聴覚士			
		臨床栄養学	四元 有吏 熊本医療センター 栄養管理室長			
		公衆衛生学	上野 達郎 医療法人有働会菊池有働病院医師			
		社会福祉	橋本眞奈美 学校法人城北学園九州看護福祉大学社会福祉学科専任講師			
		関係法規	植松 裕 熊本医療センター 事務部長			
		臨床看護総論	田代 博高 熊本医療センター 臨床工学技士長			
	専門分野Ⅰ	看護倫理	甲斐 愛子 社会福祉法人権現福祉会重症心身障害児・者通所支援事業所ゆいまーる 管理者			
		成人看護学援助論Ⅰ	石井 香織 前川 友成 米野 由美 塚本 麻美 山口真奈美 杉谷 珠美 村山由里子	熊本医療センター 副看護師長 集中ケア認定看護師 熊本医療センター 副看護師長 集中ケア認定看護師 熊本医療センター 副看護師長 集中ケア認定看護師 熊本医療センター 看護師 熊本医療センター 看護師 熊本医療センター 看護師 熊本医療センター 看護師		
			成人看護学援助論Ⅱ	西山 慎吾 大塚 美里 塚農真理子 稲田彩由美 竹熊比留梨 山下 令 吉本 健志 坂本 恵 本田 華子 戸上みなみ	熊本医療センター 副看護師長 熊本医療センター 副看護師長 がん性疼痛看護認定看護師 熊本医療センター 看護師 熊本医療センター 看護師 熊本医療センター 看護師 熊本医療センター 看護師 熊本医療センター 看護師 熊本医療センター 看護師 熊本医療センター 看護師 熊本医療センター 看護師	
				老年看護学援助論・演習	川竹 美恵 上田緋沙美 谷口 弘美 萩 楓 藤本 綾 本田代利子	熊本医療センター 副看護師長 熊本医療センター 副看護師長 熊本医療センター 看護師 熊本医療センター 看護師 熊本医療センター 看護師 熊本医療センター 看護師
					小児看護学援助論	水上 智之 緒方 美佳
小児看護学援助論・演習					扇塚 寿里 後藤 静香	熊本医療センター 看護師 熊本医療センター 看護師
母性看護学概論					深水 素子 助産師	
専門分野Ⅱ		母性看護学援助論Ⅰ		深水 素子 助産師		
		母性看護学援助論Ⅱ	高木 みか 熊本医療センター 産婦人科医長			
		精神看護学援助論	渡邊健次郎 山下 建昭	熊本医療センター 統括診療部長 熊本医療センター 精神科部長		
		在宅看護概論	松本ヤヨイ 木村 浩美	非常勤講師 医療法人社団寿量会訪問看護ステーション清雅苑管理者		
			在宅看護援助論	嶮野さとみ 田中富美子	(有)八房 エイジェントケア介護支援専門員 熊本医療センター 地域医療連携係長	
	在宅看護援助論演習		堂園千代子	熊本医療センター 医療安全係長		
	統合分野	医療安全	泉 早苗 中尾とよみ 井上 範子 辻丸祐規子	熊本医療センター 看護部長 熊本医療センター 副看護部長 熊本医療センター 副看護部長 熊本医療センター 副看護部長		
		看護管理と看護研究	上野 達郎 八代 利香 北田 真己 後藤 達弘 中嶋 美佳 大野 智和	医療法人有働会菊池有働病院医師 国立大学法人鹿児島大学医学部保健学科 熊本医療センター 救急科医長 熊本医療センター 救急支援担当 熊本医療センター 看護師 救急看護認定看護師 熊本医療センター 副看護師長		

授業科目 単位数及び時間数

区分	科目名	単位数	時間数	区分	科目名	単位数	時間数		
基礎分野	科学的思考の 基盤	人間工学	1	30	専門分野Ⅰ	臨地実習	日常生活援助技術実習	2	90
		情報科学	1	30			問題解決技術実習	1	45
		文学	1	30			小計	14	450
	人間と社会、 社会の理解	生活科学	1	30		成人看護学	成人看護学概論	1	30
		健康と癒し	1	30			成人看護学援助論Ⅰ	2	45
		英語講読	1	30			成人看護学援助論Ⅱ	2	45
		人間関係論・演習	2	45			成人看護学援助論演習	1	30
		社会学	1	30			老年看護学	老年看護学概論	1
		心理学	1	30		老年看護学援助論		1	30
		生命倫理	1	15		老年看護学援助論・演習		2	45
		生涯学習論	1	30		小児看護学	小児看護学概論	1	30
	英会話	1	30	小児看護学援助論			1	30	
	小計	13	360	小児看護学援助論・演習		2	45		
専門基礎分野	人体の構造と 機能	解剖生理学	3	90	専門分野Ⅱ	母性看護学	母性看護学概論	1	30
		代謝学	1	15			母性看護学援助論Ⅰ	1	30
	疾病の成り立ち と回復の促進	病理学総論	1	15			母性看護学援助論Ⅱ	1	15
		微生物学	1	30		母性看護学援助論・演習	1	30	
		薬理学	1	30		精神看護学	精神看護学概論	1	30
		疾病論Ⅰ(呼吸・循環)	2	60			精神看護学援助論	1	30
		疾病論Ⅱ(栄養・代謝・排泄)	2	60			精神看護学援助論・演習	2	45
		疾病論Ⅲ(知覚・運動)	2	60		臨地実習	成人看護学実習Ⅰ	2	90
		疾病論Ⅳ(性・生殖機能)	1	15			成人看護学実習Ⅱ	2	90
	治療論	1	30	成人看護学実習Ⅲ			2	90	
	健康支援と 社会福祉制度	生活とリハビリテーション	1	30			老年看護学実習Ⅰ	2	90
		臨床栄養学	1	30			老年看護学実習Ⅱ	2	90
		公衆衛生学	1	30		小児看護学実習	2	90	
		社会福祉	2	30		母性看護学実習	2	90	
	関係法規	1	15	精神看護学実習		2	90		
	小計	21	540	小計		38	1275		
	専門分野Ⅰ	基礎看護学	看護学概論	1		30	統合分野	在宅看護論	在宅看護概論
基礎看護技術論			1	30	在宅看護援助論	1			15
観察技術論演習			1	30	在宅看護援助論・演習	2			60
日常生活援助技術論演習Ⅰ			1	30	看護の統合と 実践	医療安全		1	15
日常生活援助技術論演習Ⅱ			1	30		看護管理と看護研究		1	30
日常生活援助技術論演習Ⅲ			1	30	災害看護・国際看護	1		30	
診療補助技術論演習			1	30	統合援助技術	1		30	
問題解決技術論演習			1	30	臨地実習	在宅看護論実習		2	90
臨床看護総論			1	30		総合実習		2	90
看護倫理			1	15		小計		12	375
看護研究演習			1	30	合計	98		3000	

学校校舎



図書室 書籍や看護雑誌、DVDが揃っています。 休みに、学生がくつろげる空間です。 学習の場としても活用しています。

学生ラウンジ

情報科学室 パソコンでの資料作りやインターネット環境が整備されています。



基礎看護実習室 実際の医療の現場に近い環境で学ぶことができます。

在宅看護論実習室 居宅環境をイメージした実習室で、在宅看護を学びます。

実習施設一覧

領域	科目名	実習場所	領域	科目名	実習場所
専門分野Ⅰ 基礎看護学	日常生活援助技術実習(療養環境の理解)	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター	統合分野 在宅看護論	在宅看護論実習	医療法人社団金森看護リハビリセンターこころ
	日常生活援助技術実習(日常生活の援助)	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター			医療法人社団寿量会訪問看護ステーション清雅苑
	問題解決技術実習	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター			医療法人朝日野会朝日野総合病院
成人看護学	成人看護学実習Ⅰ	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター			朝日野訪問看護ステーション
	成人看護学実習Ⅱ	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター			医療法人堀尾会訪問看護ステーションたくまだい熊本
	成人看護学実習Ⅲ	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター			九州松栄産業江津しょうぶ苑訪問看護ステーション
老年看護学	老年看護学実習Ⅰ	社会福祉法人聖母会 聖母の丘			九州松栄産業黒髪しょうぶ苑訪問看護ステーション
		社会福祉法人慈愛園 慈愛園老人ホーム			医療法人山部会成城訪問看護ステーション
		社会福祉法人リデルライトホーム			熊本県看護協会訪問看護ステーションくまもと
		熊本市社会福祉事業団養護老人ホーム 明苑			医療法人社団金森会在宅ケアセンターあさひコート
		熊本市社会福祉事業団養護老人ホーム 明生園			熊本市高齢者支援センターささえりあ熊本南
小児看護学	小児看護学実習	熊本市社会福祉事業団養護老人ホーム 明生園			熊本市高齢者支援センターささえりあ幸田
		社会福祉法人健成会 ウェルネススクエア和楽	熊本市高齢者支援センターささえりあ井芹		
母性看護学	母性看護学実習	熊本市西里老人福祉センター	九州松栄産業黒髪しょうぶ苑居宅介護支援事業所		
		独立行政法人国立病院機構熊本医療センター	熊本県看護協会居宅介護支援事業所		
		独立行政法人国立病院機構熊本医療センター	(有)八房エイジェントケア		
精神看護学	精神看護学実習	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター	医療法人社団金森会介護老人保健施設あさひコート(通所)		
		独立行政法人国立病院機構熊本医療センター	九州松栄産業江津しょうぶ苑小規模多機能ホーム		
		独立行政法人国立病院機構熊本医療センター	社会福祉法人健成会小規模多機能ハウス(ほがら)		
合計			医療法人金澤会介護老人保健施設青翔苑(通所)	1035時間	

母体病院



独立行政法人 国立病院機構 熊本医療センター

救命救急医療と高度先進医療を担う急性期総合病院です。

- 熊本県の中核を担う救命救急センター
- 地域医療支援病院
- 災害拠点病院
- 地域がん診療連携拠点病院

年間行事



- 入学式
- 消防訓練
- 学生交流会

4月
Apr



消防訓練
災害拠点病院附属の学生として万が一に備える訓練。



学生交流会
学生を支援するのは教職員だけではありません。学生同士で支援する。

- スポーツ大会
- 看護の日

5月
May



スポーツ大会
みんなで汗をかいてリフレッシュ!



看護の日
清掃ボランティア

6月
Jun



グループワーク



校内演習



● オープンキャンパス

7月
Jul



校内演習



授業風景

- 誓いの式
- 災害医療福祉訓練
- 花粋祭

10月
Oct



誓いの式



花粋祭

9月
Sep

8月
Aug

- 看護師国家試験



みんなで合格祈願

- 学生交流会

11月
Nov



12月
Dec

- 看護研究発表会



実習での学びを振り返る(3年生)

1月
Jan

2月
Feb

3月
Mar

- 卒業式



学生の生活

— 学生の1日の生活 —

1年生

基礎的な知識・技術を習得

文学や情報科学といった教養科目や解剖生理学、母体病院の医師による疾病論、さらに看護を実践するために必要な基礎的な技術を学習します。論理的思考を養い看護の対象である人間と人間の生活について考え、看護の基礎となる知識と技術の習得を目指します。

2年生

さらに専門的にステップアップ

1年生での学びを基盤に対象の状態に応じた看護について具体的に学習します。母体病院の看護師による講義もあり、あこがれだった看護師が身近な存在になります。また、看護学実習では受け持ちの対象の健康問題を解決していく過程を学びます。

3年生

本格的な臨地実習

母体病院を中心に、地域の様々な施設での実習を通して、対象の特性や看護実践の場の特徴に応じた援助について学びます。これまで培った知識や技術を看護実践の場で実践しながら、よりよい看護を探究するための考え方や方法を学びます。

学内での1日 臨地実習の1日



臨地実習

臨地実習は主として、国立病院機構熊本医療センターで行います。病床数550床を有し、救命救急医療、政策医療、高度先進医療を中心とした総合診療および教育研修、研究、国際医療協力と幅広い分野に積極的に取り組んでいます。学生の指導においては全病棟に実習指導者が配置され、高い教育効果をあげています。院外実習としては、訪問看護ステーション、老人ホーム、介護老人保健施設、幼稚園等があります。

学習支援—看護技術教育—

基礎看護技術の習得では、講義終了後、2年生と1年生がともに教えあい学びあう中で成長できるような学習体系を整えています。グループで演習し、相談しやすい雰囲気の中で、お互いを高めあいながら学習することができます。これは、先輩、後輩との関係を築き、自ら学ぶことのできる力を身につけることにもつながっています。

在校生の声



1年生 稲葉 美羽

1年生の学習は、看護の土台となる学習が中心となります。自主的に学習することを求められます。看護の専門的な知識は難しいこともありますが、先輩や先生方へアドバイスをもらいながらいつも支えられています。看護師を目指すという同じ目標を持った仲間と、お互いに刺激しあいながら成長していける環境です。日々の看護の学びを大切に、なりたい看護師像を見つけていきたいと思っています。

私は、看護助手としての社会人の経験を経て看護師の道を選びました。初めは人の役に立つ仕事をしたという漠然とした気持ちでしたが、看護の学びを重ねるうちに、看護のやりがいや喜び、責任を考慮するようになりました。2年生となり、看護の専門分野の学習や臨地実習を体験しています。患者、家族と寄り添うことができる看護について考えながら、充実した学校生活を過ごしています。



2年生 塚本 孝亮



3年生 平木 麻里

私はこの学校に入ってボランティア活動や地域の方々との触れ合いを通してたくさんの経験をしたことで、社会組織の一員として自分自身を見つめなおし心身共に成長することができました。現在、臨地実習が本格的に始まり、毎日たくさんの刺激を受けながら充実した学校生活を送っています。クラスメイトたちも先生方の熱心なご指導のもと、学生一人ひとりが友人、先輩、後輩とのつながりを大切に、夢の実現に向けて頑張っています。

卒業生の声



2018年度卒業生 沖 葉月

看護学生時代に1番印象に残っていることは、臨地実習と看護師国家試験のための学習です。実習で看護を実践していく中で、どうすれば患者さんに安楽な看護を提供できるのか、考える日々が続きました。このようななかで、先生方をはじめ同級生や実習指導者の方々の支えによって最後まで患者さんと向き合い、看護を提供することができたと思います。卒業後、私は養護教諭資格を取得するために大学に進学しました。学習内容は異なりますが、看護学校時代に身につけた学ぶ姿勢を大切に夢に向かって頑張っていきたいと思っています。

看護学校時代からクラスメイトだけでなく、様々な行事で先輩・後輩と接する機会が多かったように思います。そのため、就職して悩み事があっても同級生や先輩・後輩とたくさん相談に乗ってくれる心強い味方がいるため、常に前向きに仕事に取り組むことができています。いま勤務をしている病棟は手術をされる患者様が多く入院されている当院は、毎日目まぐるしく大変なこともあります。看護師2年目となり、患者様の病気の回復の力になれることをやりがいに感じて頑張っています。



2017年度卒業生 岩下 桜



2014年度卒業生 本田 栞

学生時代に特に印象に残っていることは、実習での経験です。集中治療室に入院されたせん妄のある患者様に対し、普段の生活リズムへ戻れるように計画をたてて関与しました。このとき行ったケアが患者様やご家族の役に立っていることを実感でき、看護師になりたいという意欲が高まりました。1学年40人と少数のため、絆も深まり、お互い学び教え合い、協力しあって学習を進めることができました。また、実習や国家試験対策の学習では、クラス一致団結して乗り越えることができ、今でも良い仲間です。就職してから4年が経ち、回復していかれる患者様の姿をみて看護師としてのやりがいを毎日感じながら仕事をしています。